
当院における血漿交換療法の現状 に関するお知らせ

このたび、当院で血漿交換療法を行った患者さんの診療記録から以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2021年12月01日から2023年06月30日の期間に埼玉医科大学総合医療センター血液浄化センターにて、血漿交換療法を受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

多種多様な疾患で必要とされる血漿交換療法は、血液を血漿分離器で血漿成分と血球成分に分離した後、病気の原因物質含む血漿を廃棄し、同量の血液製剤を入れて置き替える治療法です。その置き換える製剤（置換液）の種類や濃度の詳細な決まりはないため、当院の傾向を調査します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年03月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

血漿交換療法を受けられた患者さんの診療実施記録から、検査結果データや治療法の種類、血漿分離器や血漿分画器の種類、置換液等情報を使用します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター臨床工学部において、研究責任者である金山由紀が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

診療録（カルテ）より血漿交換療法を実施された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部 金山由紀（研究責任者）

埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部 佐々木 裕介

埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部 池田 敬太

埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部 竹内 大輔

埼玉医科大学総合医療センター

腎・高血圧内科/血液浄化センター 医師 教授 小川 智也

埼玉医科大学総合医療センター

腎・高血圧内科/血液浄化センター 医師 講師 清水 泰輔

埼玉医科大学総合医療センター看護部/血液浄化センター看護師 副師長 安田 多美子

埼玉医科大学総合医療センター看護部/血液浄化センター看護師 主任 長谷川 総子

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部 金山由紀

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

TEL : 049-228-3708 (直通)

(平日 9時～17時)

○研究課題名：当院における血漿交換療法の現状

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部 金山由紀